

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
2 世界に開かれた活力あふれる熊本 (施策5) 交通の利便性向上 施策5-①交通渋滞解消	2,071,368	2,066,152	1 交通安全施設等の整備 安全で円滑な交通環境を確保するため、交通安全施設等の整備を行った。 (1) 道路の新設・改良等に伴う交通安全施設等の整備 新たな道路の開通や交差点の改良等に伴う信号機の新設、道路標識・標示の整備 (2) 交通管制システムの整備 ① 信号制御の集中化による信号機の高度化の実施 ② 光ビーコンや車両感知器等の整備 ③ 交通情報をドライバーに提供する交通情報板の整備 (3) 災害に備えた交通安全施設等の整備 ① 信号灯器のLED化による軽量化、信号柱のコンクリート柱から鋼管柱への建替 ② 停電時に備えた信号機電源付加装置の整備	警察活動費のうち P369 ~ P370

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策2) 災害に強い県土づくり 施策2-①防災力の強化	873,642	864,337	1 警察統合OA整備費 大規模災害により警察本部庁舎が機能停止した場合に備えるため、県警察統合OAシステムの機器更新に合わせてバックアップ機能を拡充し、災害発生時の業務継続運用に支障を来すことがないよう整備を図った。 2 危機管理対策費 県内で予想される豪雨災害、阿蘇山の噴火、南海トラフ地震等の大規模災害に備えるため、充電式チェンソー、充電式レスプロソー、ポータブルLED投光器等を購入・整備して警察署へ配備するとともに、高い救助技術を有する機動隊員が迅速、的確に活動するためのドライスーツ、ウェットスーツ、スタティックロープ等を購入し、災害対応に向けた万全の態勢構築を図った。	警察本部費のうち P363 ～ P366 警察活動費のうち P369 ～ P370

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策4) 安全・安心の地域づくり 施策4-①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進	492,364	485,917	1 ストーカー・DV等人身安全対策の推進 ストーカー・DV行為者の検挙、精神医学的・心理学的アプローチに係るカウンセリングの実施等により、被害者等の安全を確保するとともに行為の沈静化及び再犯防止を図った。 (1) ストーカー事案対策の強化 ・令和6年中のストーカー事案認知件数 : 300件 ・ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく文書警告 : 11件 ・ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令 : 27件 ・ストーカー行為等の規制等に関する法律違反による検挙 : 10件 ・他法律による検挙 : 18件 (2) DV事案対策の強化 ・令和6年中のDV事案認知件数 : 455件 ・配偶者からの暴力及び被害者の保護等に関する法律に基づきなく保護命令違反による検挙 ・他法律による検挙 : 63件 (3) ストーカー行為等・DVから被害者を守る具体的取組み ・ストーカー行為者の特定、犯罪行為の証拠化等のため、被害者方等に防犯カメラを設置(令和6年度設置件数 : 17件) ・地域精神科医療機関と連携して再発防止を図るため、5人のストーカー行為者に対して精神医学的・心理学的アプローチに係るカウンセリングを実施 ・危険性の高いストーカー事案の被害者等にGPS機能付き緊急通報装置の貸出を実施(50台整備し、拠点となる警察署に配備)	警察活動費のうち P369 ~ P370

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																																
(施策4-①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進)			2 犯罪抑止・少年保護対策費 非行少年を生まない社会づくりに取り組むとともに、少年の立ち直りを支援する活動を実施し、少年の規範意識の向上及び社会との絆の強化を図った。 また、熊本市や関係機関と連携した繁華街における合同パトロールを実施し、取締りを強化するなど、繁華街の環境浄化を図った。 (1) 少年非行の現状 <table border="1" data-bbox="925 475 1888 790"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年</th> <th>令和6年</th> <th>増減(6年-5年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>刑法犯少年数</td> <td>342人</td> <td>398人</td> <td>+56人 (+16.4%)</td> </tr> <tr> <td>初発型非行少年数</td> <td>177人</td> <td>186人</td> <td>+9人 (+5.1%)</td> </tr> <tr> <td>再非行少年数</td> <td>64人</td> <td>85人</td> <td>+21人 (+32.8%)</td> </tr> <tr> <td>再非行者率</td> <td>18.7%</td> <td>21.4%</td> <td>+2.7ポイント</td> </tr> <tr> <td>特別法犯少年数</td> <td>76人</td> <td>71人</td> <td>▲5人 (▲6.6%)</td> </tr> <tr> <td>薬物乱用少年数</td> <td>16人</td> <td>9人</td> <td>▲7人 (▲43.8%)</td> </tr> <tr> <td>不良行為少年の補導数</td> <td>1,051人</td> <td>1,023人</td> <td>▲28人 (▲2.7%)</td> </tr> </tbody> </table> (2) SNSに起因する子供の性被害等防止のための注意喚起・警告活動 サイバーパトロールにより発見したSNS上の児童買春や児童ポルノ等の書き込みに対する注意喚起・警告活動を実施(1,005件) (3) 広報啓発 ① SNSに起因する子供の被害・非行防止のための保護者向け広報啓発冊子「スマホに弱い大人の教科書(熊本県警察発行)」を2万部増刷し、入学説明会等で県内の新中学1年生の保護者に配布 ② 少年をアルバイト感覚で犯罪に加担させないため、犯罪実行者募集情報(「闇バイト」)に関する非行防止教室、加担防止啓発動画作成・Youtubeで配信 (4) 学校との連携 ① 熊本県学校等警察連絡協議会、熊本県学校・警察相互連絡制度の効果的な運用 ② スクールサポーター制度 ・児童生徒の問題行動等への対応 : 5,149回 ・非行・被害防止教育の支援等 : 436回 ・防犯パトロール等による児童生徒の安全確保対策 : 4,144回	区分	令和5年	令和6年	増減(6年-5年)	刑法犯少年数	342人	398人	+56人 (+16.4%)	初発型非行少年数	177人	186人	+9人 (+5.1%)	再非行少年数	64人	85人	+21人 (+32.8%)	再非行者率	18.7%	21.4%	+2.7ポイント	特別法犯少年数	76人	71人	▲5人 (▲6.6%)	薬物乱用少年数	16人	9人	▲7人 (▲43.8%)	不良行為少年の補導数	1,051人	1,023人	▲28人 (▲2.7%)	警察活動費のうち P369 ~ P370
区分	令和5年	令和6年	増減(6年-5年)																																	
刑法犯少年数	342人	398人	+56人 (+16.4%)																																	
初発型非行少年数	177人	186人	+9人 (+5.1%)																																	
再非行少年数	64人	85人	+21人 (+32.8%)																																	
再非行者率	18.7%	21.4%	+2.7ポイント																																	
特別法犯少年数	76人	71人	▲5人 (▲6.6%)																																	
薬物乱用少年数	16人	9人	▲7人 (▲43.8%)																																	
不良行為少年の補導数	1,051人	1,023人	▲28人 (▲2.7%)																																	

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策4-①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進)			(5) 少年警察ボランティアとの連携 ① 少年指導委員と連携した風俗営業店舗への立入りによる環境浄化活動：97店舗 ② 少年サポーターと連携した非行少年、不良行為少年等に対する支援：85回 (6) 警察が行う児童通告 令和6年中における警察から児童相談所への通告児童数：1,606人 (7) 繁華街における治安維持活動の推進 熊本市と連携し、風俗営業店舗への合同立入り、客引き及び客待ち行為をさせない警戒等の繁華街浄化活動を推進 (8) 悪質な客引き、風俗店舗等の検挙 繁華街における悪質な客引き11件12人(スカウト行為1件1人を含む。)を検挙するとともに、無許可の風俗営業等の風営法違反12件15人を検挙 (9) 街頭防犯カメラネットワークシステムの運用 犯罪が発生する蓋然性が高い熊本市中心繁華街及び熊本駅周辺に設置した街頭防犯カメラ40台を継続運用	

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策4-①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進)			<p>5 組織犯罪対策の推進 暴力団及び準暴力団を含む匿名・流動型犯罪グループ等に対する実態解明及び取締りを徹底するなど、犯罪組織の壊滅及び弱体化に向けた取組みを推進した。</p> <p>(1) 暴力団等に係る犯罪の取締り 令和6年中の暴力団構成員等の検挙状況：158件(前年比+11件)、126人(前年比+21人)</p> <p>(2) 特殊詐欺等の取締り ① 令和6年中の特殊詐欺の検挙状況：31件(前年比+5件)、9人(前年比▲3人) ② 令和6年中の助長犯罪の検挙状況：64件(前年比▲1件)、43人(前年比+8人)</p> <p>(3) 準暴力団に係る犯罪の取締り 令和6年中の準暴力団の検挙状況：50件(前年比▲1件)、51人(前年比▲10人)</p> <p>(4) 犯罪収益対策の推進 犯罪収益に係る犯罪の検挙等、犯罪組織に対する犯罪収益対策を推進した。</p> <p>(5) 暴力団排除に向けた取組の推進 ① 視察等による暴力団情報の収集により、新規組員を認定した。 ② 令和6年中の暴力団排除条例の適用状況：勧告15件(前年比+9件) ③ 令和6年中の暴力団排除に向けた不当要求防止責任者講習の開催状況：15回(前年比±0回)、受講者数1,160人(前年比+101人) ④ 自治体、公共機関及び民間事業者等からの相談等に応じ、暴力団排除活動を支援した。</p>	警察活動費のうち P369～P370

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名																								
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策4) 安全・安心の地域づくり 施策4-②犯罪被害者支援	9,052	7,626	1 犯罪被害者支援活動の推進 犯罪被害者等の被害回復及び二次的被害の防止・軽減を図るため、各種施策を推進した。 (1) 民間被害者支援団体との連携 被害者等への支援活動における活動基盤の強化を図るため、公益社団法人くまもと被害者支援センターとの連携を強化するとともに、同センターに対する補助金の交付を実施した。 【公益社団法人くまもと被害者支援センターの活動状況】 <table border="1" data-bbox="925 547 1890 703"> <thead> <tr> <th>活動業務</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>増減(6年-5年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談業務(電話、メール等)</td> <td>1,501件</td> <td>1,712件</td> <td>+211件(+14.1%)</td> </tr> <tr> <td>直接的支援業務(病院付添等)</td> <td>293件</td> <td>295件</td> <td>+2件(+0.7%)</td> </tr> <tr> <td>専門相談業務(弁護士等)</td> <td>59件</td> <td>59件</td> <td>±0件(±0%)</td> </tr> </tbody> </table> (2) 二次的被害の防止・軽減事業 診断書料・カウンセリング費等の公費負担による被害者の精神的・経済的負担の軽減 <table border="1" data-bbox="925 778 1890 855"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>増減(6年-5年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診断書手数料等の公費負担事業</td> <td>1,120</td> <td>1,958</td> <td>+838(+74.8%)</td> </tr> </tbody> </table>	活動業務	令和5年度	令和6年度	増減(6年-5年)	相談業務(電話、メール等)	1,501件	1,712件	+211件(+14.1%)	直接的支援業務(病院付添等)	293件	295件	+2件(+0.7%)	専門相談業務(弁護士等)	59件	59件	±0件(±0%)	事業項目	令和5年度	令和6年度	増減(6年-5年)	診断書手数料等の公費負担事業	1,120	1,958	+838(+74.8%)	警察活動費のうち P369 ~ P370
活動業務	令和5年度	令和6年度	増減(6年-5年)																									
相談業務(電話、メール等)	1,501件	1,712件	+211件(+14.1%)																									
直接的支援業務(病院付添等)	293件	295件	+2件(+0.7%)																									
専門相談業務(弁護士等)	59件	59件	±0件(±0%)																									
事業項目	令和5年度	令和6年度	増減(6年-5年)																									
診断書手数料等の公費負担事業	1,120	1,958	+838(+74.8%)																									

(警察本部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名												
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策4) 安全・安心の地域づくり 施策4-④消費者被害の未然防止	113,549	94,000	1 「電話で『お金』詐欺」防止のための総合対策事業 「電話で『お金』詐欺」被害の防止に向けた各種施策を推進した。 (1) 県内の「電話で『お金』詐欺」被害の推移 <table border="1" data-bbox="922 437 1886 555"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年</th> <th>令和6年</th> <th>増減(6年-5年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被害件数</td> <td>104件</td> <td>113件</td> <td>+9件(+8.7%)</td> </tr> <tr> <td>被害金額</td> <td>274,532</td> <td>446,791</td> <td>+172,259(+62.7%)</td> </tr> </tbody> </table> (2) 「電話で『お金』詐欺」被害防止推進活動 <ul style="list-style-type: none"> ① 被害に遭うリスクの高い押収名簿登載者や高齢者に対して、被害防止コールセンターによる注意喚起を実施 ② 金融機関、コンビニエンスストア等と連携したキャンペーン及び声かけ、テレビCM、SNS等を活用した広報啓発活動の実施(SNS型投資・ロマンス詐欺に関する注意喚起も併せて実施) ③ 防犯機能付き電話機の購入者に対してギフトカードを送る「防犯電話機購入支援キャンペーン」を実施 ④ 「電話で『お金』詐欺」支援員(通称「でんでんむし隊」)による「固定電話に防犯機能を付加するサービス・機器」の指導助言等を実施 		令和5年	令和6年	増減(6年-5年)	被害件数	104件	113件	+9件(+8.7%)	被害金額	274,532	446,791	+172,259(+62.7%)	警察活動費のうち P369 ~ P370
	令和5年	令和6年	増減(6年-5年)													
被害件数	104件	113件	+9件(+8.7%)													
被害金額	274,532	446,791	+172,259(+62.7%)													